

緩やかな持ち直しの動きがみられる

(前回:緩やかな持ち直しの動きがみられる)

生産は横ばい傾向。輸出は4か月ぶりの増加。
個人消費は回復傾向にある。雇用は改善している。■ 12月生産:横ばい傾向
(11月:横ばい傾向)

- 鉱工業生産指数 108.4
前月比 +4.3% (3か月ぶり)
前年同月比 +1.8% (2か月ぶり)
- 全13業種中、上昇は7業種
汎用・生産用・業務用機械工業、輸
送機械工業、電気・情報通信機械
工業 等
- 低下は6業種
化学・石油石炭製品工業、その他
工業、電子部品・デバイス工業 等

(出所:九州経済産業局)

■ 12月輸出:増加(4か月ぶり)
(11月:減少)

- 輸出額 8,803億円
前年同月比 +3.4% (4か月ぶり)
- 主要品目
自動車 2,576億円 ▲3.8% (6か月連続)
電子部品 1,493億円 +3.0% (2か月ぶり)
鉄鋼のフラットロール製品
633億円 ▲1.8% (2か月ぶり)
- 国別
中国 1,715億円 ▲4.0% (6か月連続)
米国 1,163億円 ▲6.1% (4か月連続)
韓国 1,136億円 +15.0% (9か月連続)

(出所:財務省)

■ 12月個人消費:回復傾向にある
(11月:回復傾向にある)

- 百貨店(全店) 592億円+1.3% (2か月連続)
- スーパー(全店) 1,360億円+6.4% (36か月連続)
- コンビニ 1,150億円 +2.7% (8か月連続)
- 家電大型専門店 335億円 +1.0% (3か月ぶり)
- ドラッグストア 772億円 +6.2% (31か月連続)
- ホームセンター 331億円 +2.5% (3か月ぶり)
- 新車登録台数 31,702台 ▲4.5% (2か月連続)

(出所:九州経済産業局ほか)

■ 12月雇用:改善している
(11月:改善している)

- 有効求人倍率 1.21倍
前月比▲0.01ポイント(6か月ぶり)
- 新規求人倍率 2.05倍
前月比▲0.10ポイント(3か月ぶり)
- 新規求人数
医療・福祉、卸売業・小売業、
建設業、製造業、宿泊業・飲食
サービス業の順に多い。

(出所:管内各労働局)

■ 業況:悪化

- 12月の業況DI (%ポイント)
全産業 +18 変化幅▲2
製造業 +8 変化幅▲1
非製造業 +23 変化幅▲2
- 先行き(3月)
全産業 +15 変化幅▲3
製造業 +6 変化幅▲2
非製造業 +20 変化幅▲3

(出所:日本銀行福岡支店 短観12月)

■ 設備投資:増加

- 23年度
全産業 +28.9%
製造業 +28.1%
非製造業 +30.3%
- 24年度(計画)
全産業 +2.8%
製造業 +8.0%
非製造業 ▲7.0%

(出所:日本銀行福岡支店 短観12月)

■ 12月住宅建設:減少(3か月ぶり)

- 新設着工戸数 6,175戸
前年同月比 ▲12.9%
(3か月ぶり)
- 持家 1,946戸
▲5.3% (3か月ぶり)
- 貸家 2,706戸
▲16.5% (3か月ぶり)
- 分譲 1,400戸
▲19.3% (2か月連続)

(出所:国土交通省)

■ 12月公共投資:増加(4か月連続)

- 工事請負金額 1,043億円
前年同月比 +2.4% (4か月連続)
- 発注者別前年同月比
国 +9.8%
独立行政法人等 ▲90.3%
県 +51.8%
市町村 ▲14.8%

(出所:西日本建設業保証㈱)

■ 12月倒産:減少(4か月ぶり)

- 倒産件数 57件
前年同月比 ▲1.7%
- 負債総額 46.5億円
▲26.4% (3か月ぶり)
- 業種別件数(前年同月比)
製造業 3件 (▲57.1%)
卸・小売業 17件 (+70.0%)
建設業 10件 (▲28.6%)

(出所:㈱東京商工リサーチ福岡支社)

注)生産及び雇用は前月比、業況は前期比、輸出、個人消費、設備投資、住宅建設、公共投資、倒産は前年同月(期)比で比較。